

# 小規模事業者景況調査報告書（第20号）

## ●北海道経済概況の推移（経済産業省北海道経済産業局）

	令和2年11月	12月
総括判断	新型コロナウイルス感染症などの影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの兆しがみられる	新型コロナウイルス感染症などの影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる
生産活動	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの動きがみられる
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる
観光	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる
公共工事	増加している	減少している
住宅建設	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる
民間設備投資	減少している	減少している
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる
企業倒産	件数は同数、負債総額は減少している	件数、負債総額とも増加している

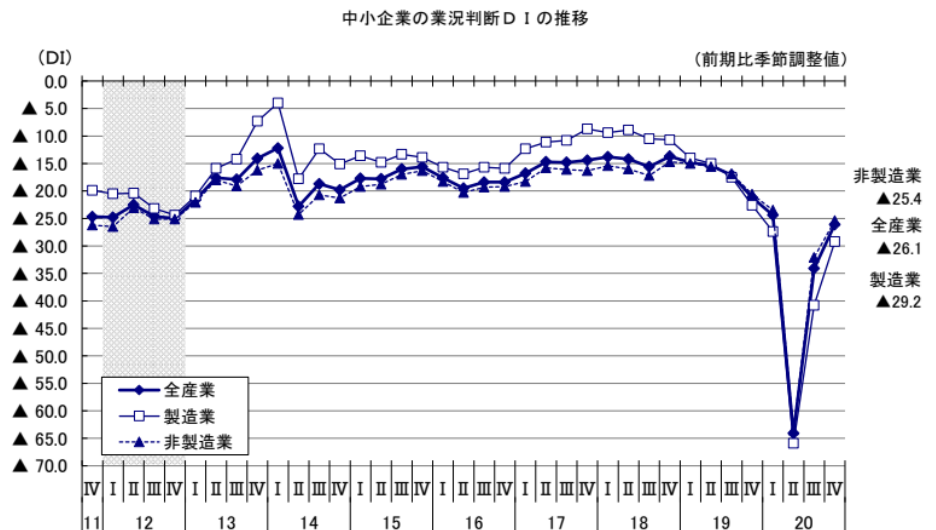
## ●道北経済概況の推移（財務省北海道財務局旭川財務事務所）

	令和2年8月	令和2年11月
総括判断	足下では持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により、弱い動きとなっている。	新型コロナウイルス感染症の影響等により弱い動きがみられるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。
個人消費	足下では持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により、弱い動きがみられる。	新型コロナウイルス感染症の影響等により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
観光	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、悪化している	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、緩やかに持ち直しつつある。
公共事業	前年を上回る	前年を下回る。
住宅建設	弱含んでいる	弱含んでいる。
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる

## ●中小企業景況調査（独立行政法人 中小企業基盤整備機構）

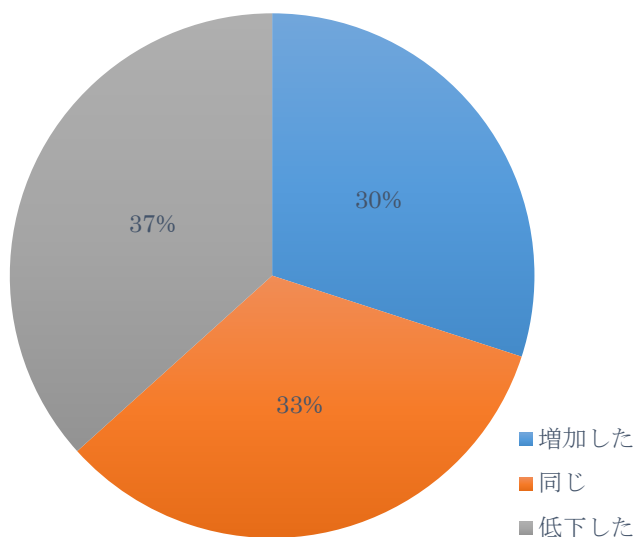
2020年10-12月期の全産業の業況判断DIは、(前期▲34.1→)▲26.1(前期差8.6ポイント増)となり、2期連続してマイナス幅が縮小した。

製造業の業況判断DIは、(前期▲40.8→)▲29.2(前期差11.6ポイント増)、非製造業の業況判断DIは、(前期▲32.1→)▲25.4(前期差6.7ポイント増)といずれも2期連続してマイナス幅が縮小した。



●あさひかわ商工会では、地域内小規模事業者の「景況確認」についての調査を令和2年10月1日～令和2年12月31日までの期間実施し、その概要を以下のとおりまとめました。

## 全業種の売上高DI値



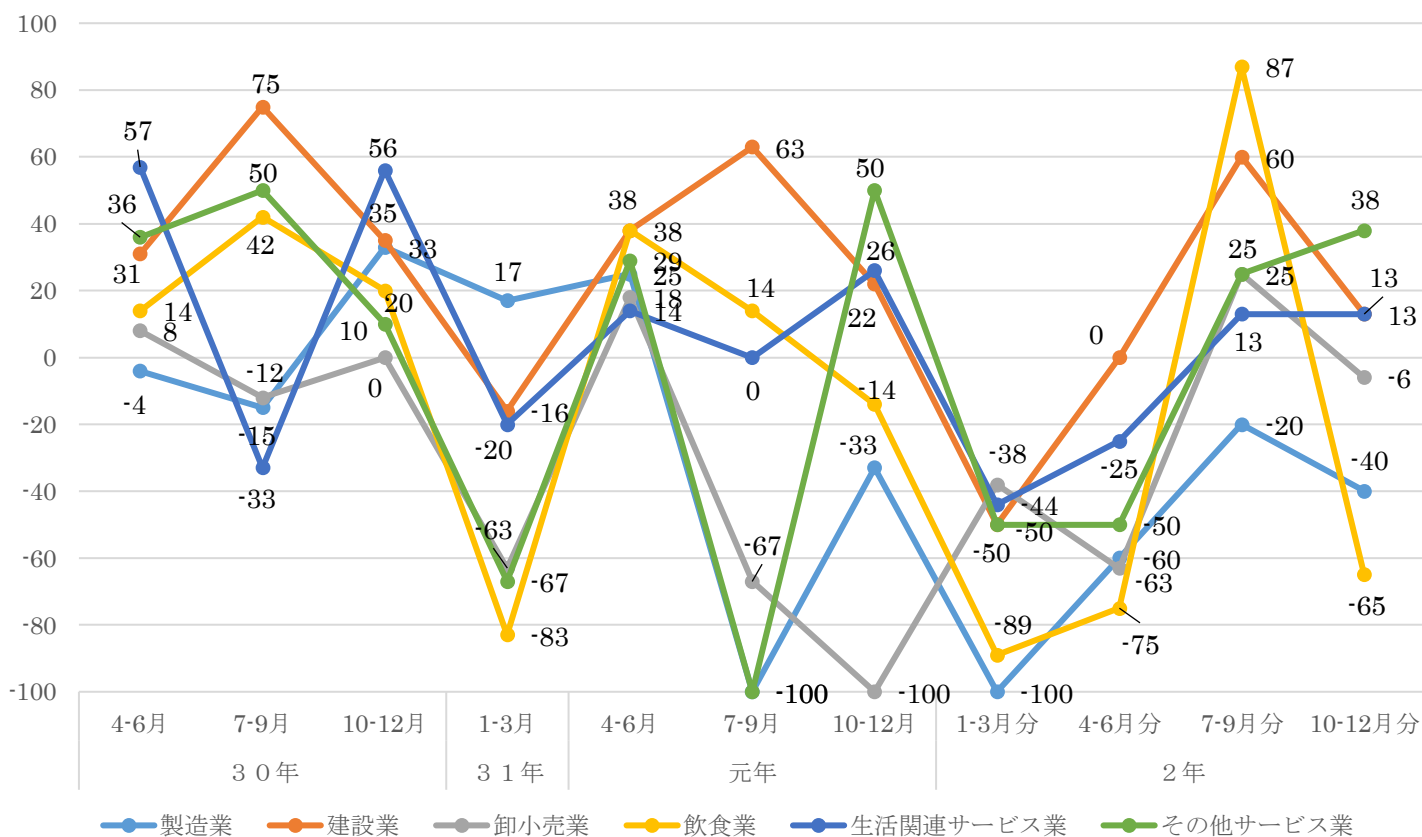
全業種 DI  $\Delta 7$

個人事業所	42 件
法人事業所	18 件
合計	60 件

業種	件数
製造業	5 件
建設業	15 件
卸小売業	16 件
飲食業	8 件
生活関連サービス業	8 件
その他サービス業	8 件
合計	60 件

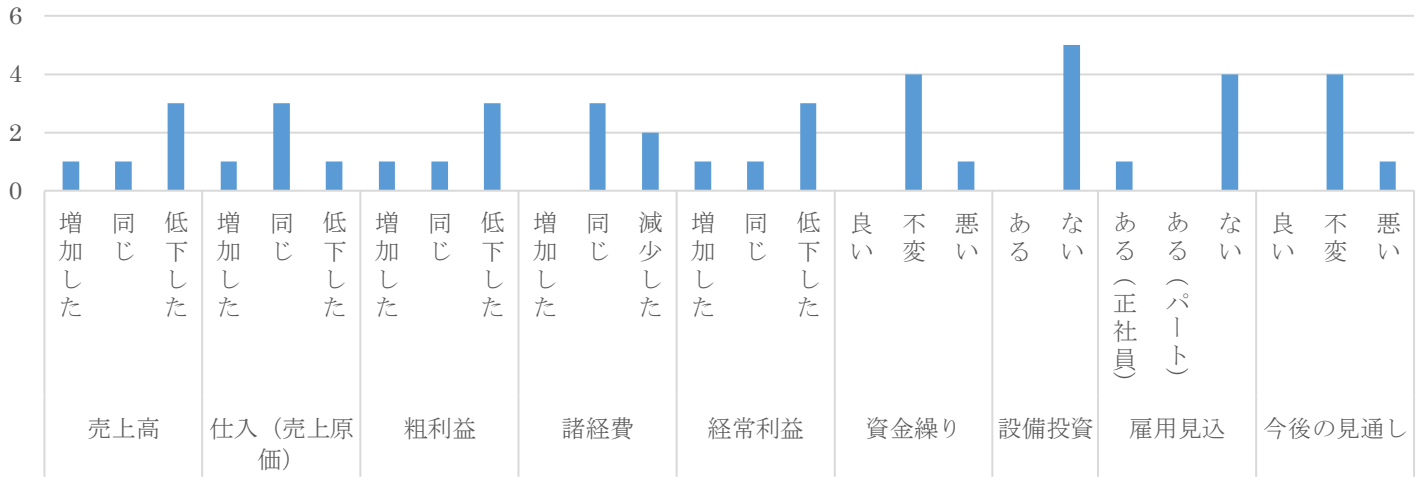
全業種の売上高DI値は、 $\Delta 7$ と前回調査より $\Delta 44$ ポイント減少であった。業種別には、製造業が前回調査時 $\Delta 20$ ポイントから $\Delta 40$ ポイントへと $\Delta 20$ ポイント減少した。建設業は、13ポイント（47ポイントの減少）、卸小売業は、 $\Delta 6$ ポイント（31ポイントの減少）、飲食業は、 $\Delta 65$ ポイント（ $\Delta 152$ ポイントの減少）、生活関連サービス業は、13ポイント（増減なし）、その他サービス業は、38ポイント（13ポイントの増加）となった。

## 業種別売上高DI値の推移

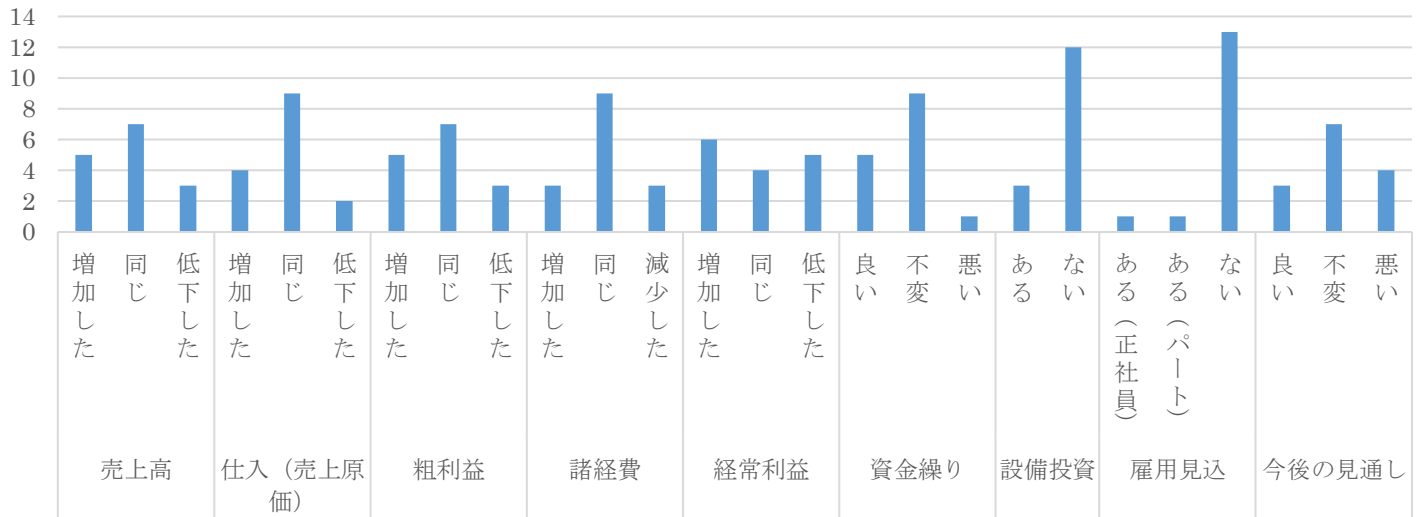


売上高DI = 売上増加企業割合 - 売上減少企業割合

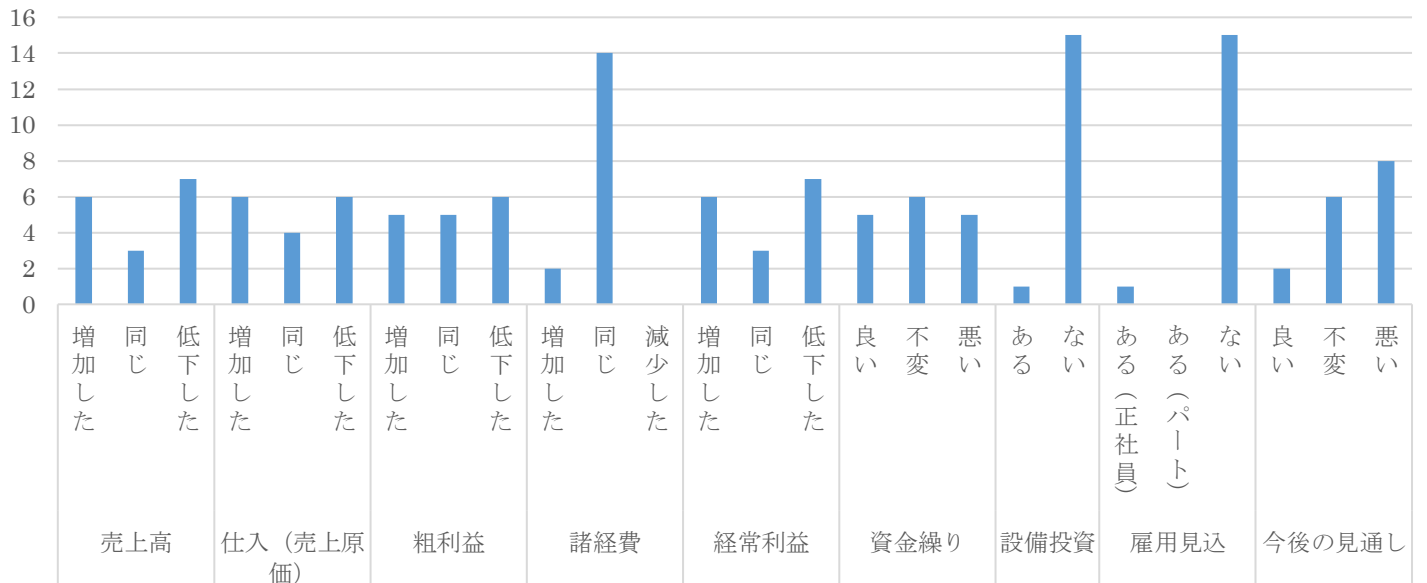
## 製 造 業



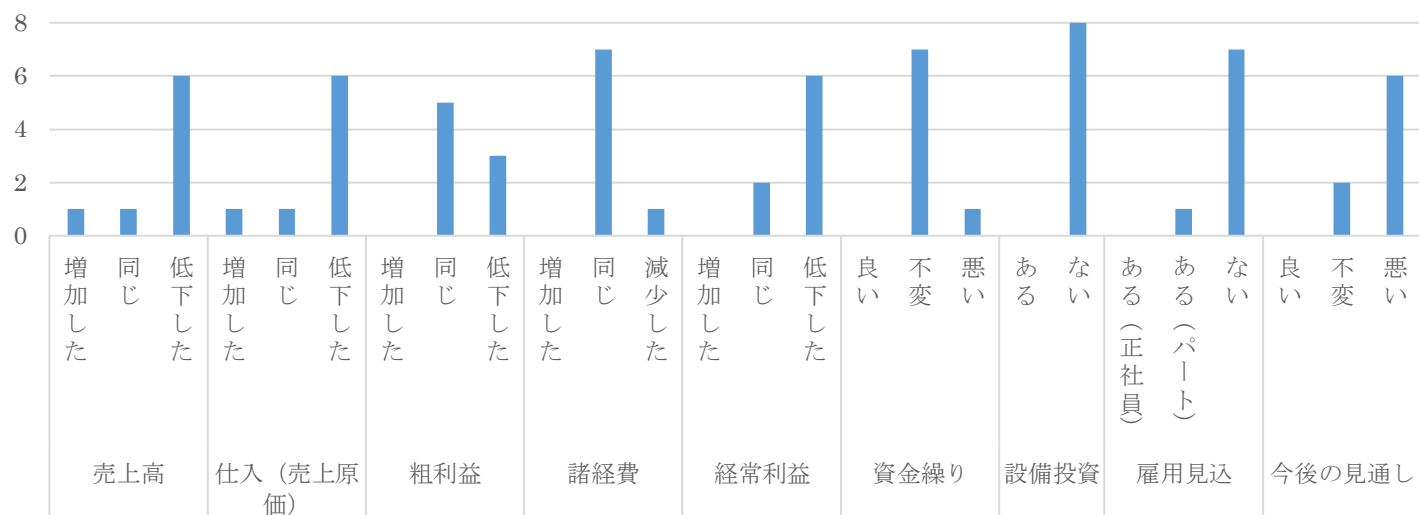
## 建 設 業



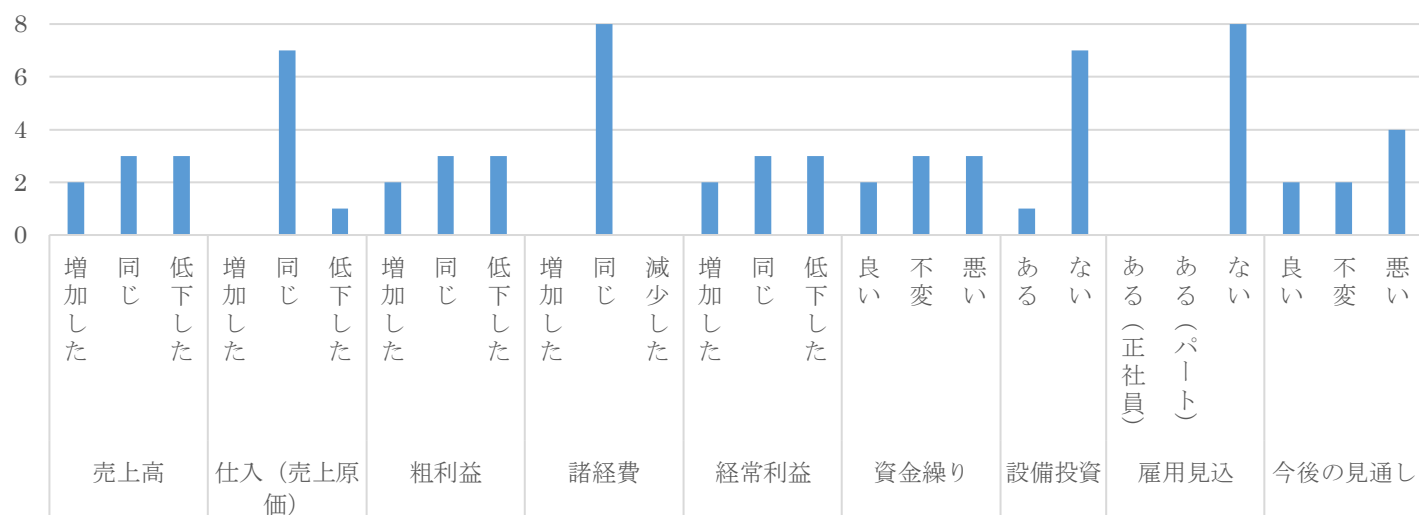
## 卸小売業



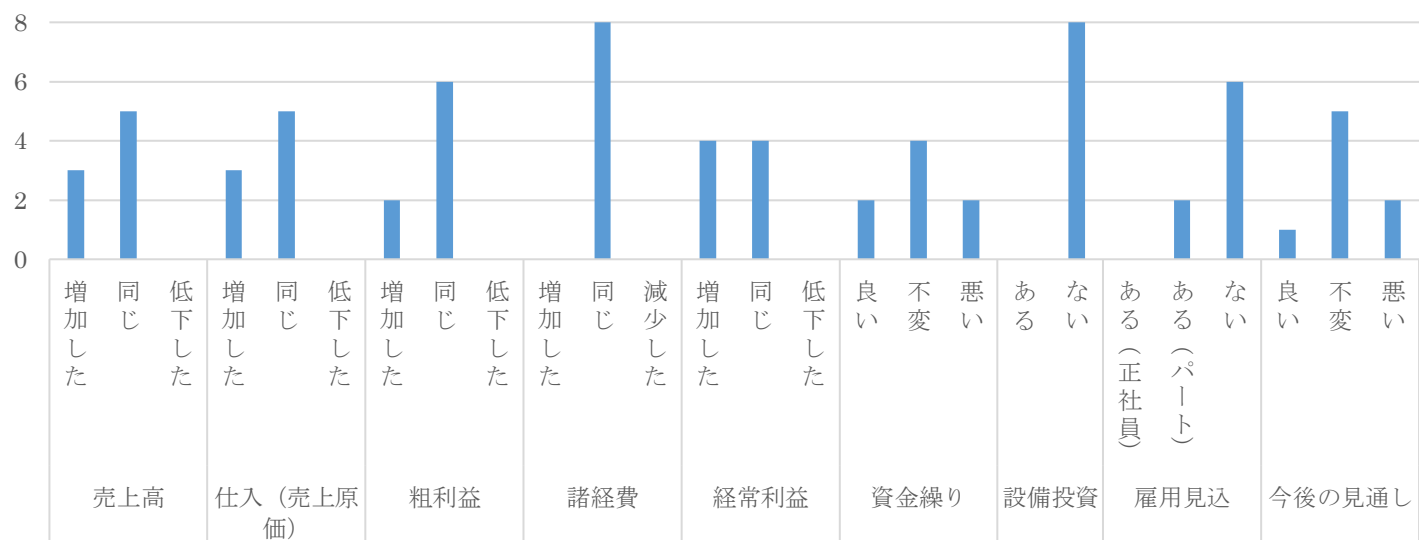
## 飲 食 業



## 生活関連サービス業



## その他サービス業

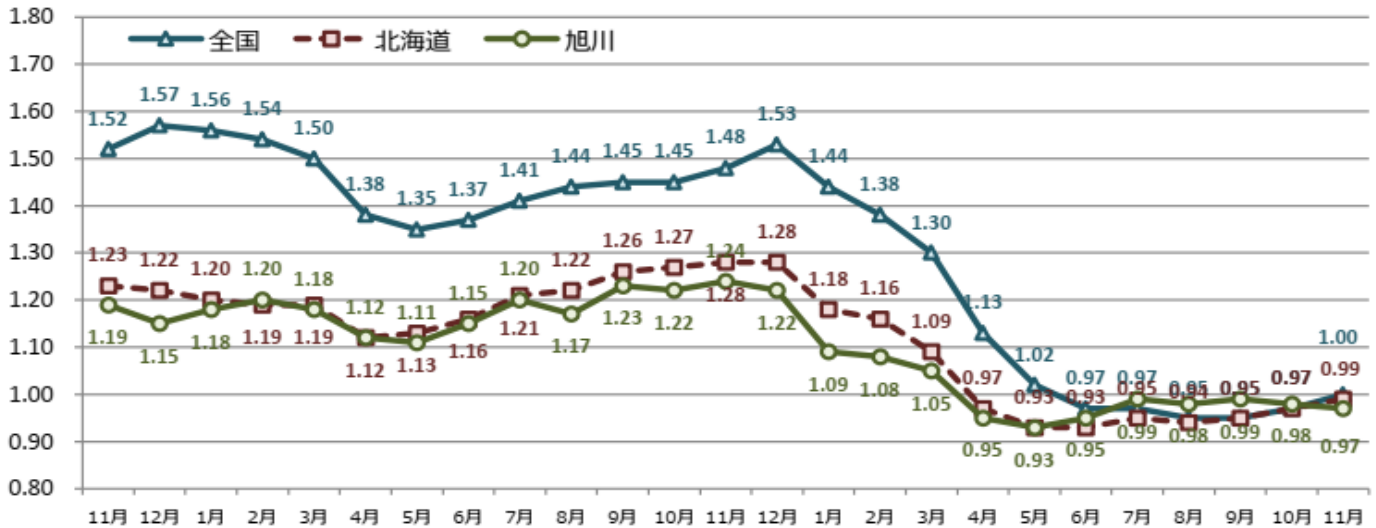


# 地域雇用失業情勢

旭川公共職業安定所  
〒070-0902  
旭川市春光町10番地の58  
TEL (0166)51-0176



## 有効求人倍率の推移 (常用原数値)



## 管内雇用失業情勢

令和2年11月の有効求人倍率は0.97倍。前月(0.98倍)より0.01ポイント減少し、前年同月(1.24倍)より0.27ポイント減少となり、11か月連続で前年同月を下回っている。※前年同月比で、有効求人数は11か月連続で前年同月を下回り、有効求職者数は6か月連続で前年同月を上回った。

### 管内の新規求職の動向

新規求職申込件数は2.1%増加(21件増)し、5か月振りに前年同月を上回った。性別では、男性は12件の増加、女性は9件の増加となり、年齢別では区分で45～54歳、65歳以上の区分で増加し、求職理由別では全ての区分で増加した。

### 管内の新規求人の動向

新規求人は6.6%減少(147人減)し、13か月連続で前年同月を下回った。これを産業別でみると、2桁の増加は「医療、福祉」(91人)、「サービス業(他に分類されないもの)」(12人)、2桁の減少は「建設業」(▲23人)、「製造業」(▲51人)、「運輸業、郵便業」(▲34人)「卸売業、小売業」(▲17人)、「金融業、保険業」(▲19人)、「生活関連サービス業、娯楽業」(▲23人)、「教育学習支援業」(▲15人)、「公務・その他」(▲44人)となった。

### 就職の動向

就職件数は254件(前年同月比▲25.3%、86件減少)となり、12か月連続で前年同月を下回った。性別では、男性は68件の減少、女性は18件の減少となり、年齢別では全ての区分で減少となった。産業別では、2桁の増加は「医療、福祉」(28件)、2桁の減少は「製造業」(▲20件)、「卸売業、小売業」(▲34件)、「宿泊業、飲食サービス業」(▲18件)、「公務・その他」(▲11件)となった。